

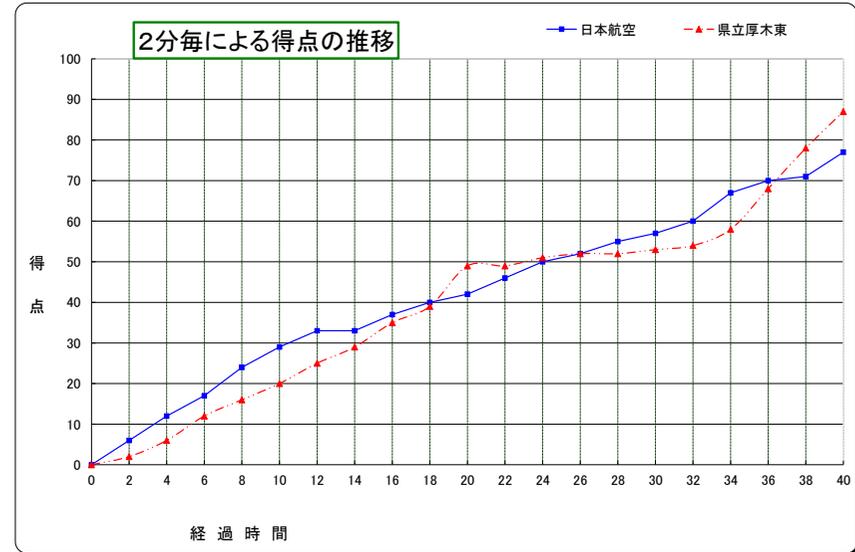
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
春日部ウイングハット
2回戦

チームA 日本航空 (山梨)	77	{	<table border="0"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>29</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>4</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>34</td></tr> </table>	29	1st	20	13	2nd	29	15	3rd	4	20	4th	34	87	}	チームB 県立厚木東 (神奈川)
29	1st	20																
13	2nd	29																
15	3rd	4																
20	4th	34																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	後藤 涼輔	15	2	4	4	7	1	2	4	2	4	0	2	0	4
5	宮田 大倅	5	0	0	2	6	1	2	3	4	5	1	2	0	1
6	神谷 瑠空	16	3	17	3	8	1	2	4	1	2	1	3	0	4
7	ザン ズーゼイ	15	1	1	4	5	4	5	4	1	13	1	8	0	5
8	福井 徹平	3	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9	磯貝 慧	0													
10	ワン ツェンイー	3	0	1	1	2	1	4	3	3	4	0	0	1	2
11	平田 稔人	0													
12	古田 哲平	2	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
13	竹元 陸	3	1	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
14	勇上ヴィシユワ慧悟	0													
15	佃 修斗	0													
16	小石 瑠音	15	1	3	6	10	0	0	4	2	0	1	1	0	2
17	岡田 拓弥	0													
18	坂本 敦也	0													
コーチ	西原 哲大		0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	2
		確率	9	30	21	42	8	15	26	15	30	6	18	1	22
			30.0%		50.0%		53.3%			計	45				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	佐野龍之介	7	0	1	2	3	3	4	4	5	3	0	4	1	2
5	佐藤 光	0													
6	望月 健太	8	1	7	2	2	1	4	3	2	3	5	1	0	1
7	東野 恒紀	38	3	5	13	25	3	9	4	1	3	1	2	0	2
8	菊池 允	14	0	0	6	15	2	2	1	3	2	2	0	0	1
9	加藤 樹	7	0	0	3	5	1	2	2	6	8	0	0	0	1
10	矢川 拳梧	0													
11	五十嵐 豪	0													
12	吉田 謙信	0													
13	中島 峻	0													
14	吉田 烈	11	0	3	3	6	5	6	0	2	3	0	0	0	1
15	小宮 優大	2	0	4	1	7	0	0	3	2	5	3	2	1	3
16	高橋 浪磨	0													
17	大野 航	0													
18	吉田 楓	0													
コーチ	永田 雅嗣郎		0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	0	0
		確率	4	20	30	63	15	27	17	23	29	12	11	2	11
			20.0%		47.6%		55.6%			計	52				



戦評

第1P 両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタートする。日本航空は#7のフリースローで先制するとその後も#7がスティールからの速攻やドライブイン、ジャンプシュートと活躍を見る。対する厚木東は#8がコール下でのシュートやフリースローをきっちり決めていく。厚木東はオフェンスリバウンドを頑張り、セカンドチャンスを得るもののシュートが決まらず流れに乗ることができない。残り3分、日本航空の#4、#7の3pが立て続けに決まり20対12になったところで厚木東が最初のタイムアウトを取る。その後、厚木東がディフェンスのプレッシャーを強め相手に思いうるようなプレーをさせない。また交代で入った#14がドライブやフリースローで得点を重ねる。日本航空も#6の3pなどで相手に流れを渡さない。残り1分半24対16のところでは日本航空がタイムアウトを取り、ディフェンスを3-2のゾーンに変える。その後は互いに点を取り合い29対20で日本航空がリードして第1Pを終了する。

第2P 厚木東はディフェンスをオールコートマンツーマンに変える。しかし日本航空も#7のドライブインからファウルで得たフリースローをきっちり決めていく。流れを変えたい厚木東はシュート後の切り替えを速く、アグレッシブにディフェンスを行っていく。そのディフェンスが成功し日本航空のターンオーバーが増える。その間に厚木東の#7がジャンプシュートを決め、#8がバスケットカウントを奪い1点差まで追い上げる。残り3分半、再びターンオーバーが出たところで日本航空がタイムアウトを取る。その後も流れを止めることができず、厚木東が逆転に成功し49対42の厚木東が7点リードで前半を終了する。

第3P 日本航空は#16のジャンプシュートが連続で決まるが、厚木東も#9のシュートで流れを渡さない。しかし残り6分、日本航空は#7のバスケットカウントで1点差にすると、#6のジャンプシュートで再びリードする。その後、両チームともミスが続きなかなか得点することができない。残り4分半、厚木東が同点になると、日本航空も#6の3pで再びリードする。シュートが決まらない展開が続く中、日本航空の#10のプザービーターが決まり57対53で日本航空がリードし第3Pが終了する。

第4P これまでの重たい展開から一転し、お互いに点を取り合う。日本航空の速攻が連続で決まり67対58になったところで厚木東がタイムアウトを取る。その後、厚木東の#7がシュートやリバウンドで活躍を見る。しかし、日本航空もシュートを決め一進一退の展開が続く。日本航空は残り5分半、厚木東は残り4分でチームファウルが溜まってしまふ。残り4分、厚木東はこの日活躍を見せている#7のバスケットカウントで同点にすると、その後も連続得点し、一気に逆転に成功。残り2分13秒、78対71で厚木東が7点リードしたところで日本航空がタイムアウト。しかし、その後も厚木東は#7のルーブシュートや#6の3pで突き放しにかかる。残り1分で日本航空は最後のタイムアウトを取る。タイムアウト後、#13の3pが決まり9点差にしファウルゲームにする。しかし、厚木東もフリースローをきっちり決めていき、流れを渡さず87対77で勝利し、準決勝進出を進めた。

記入者: 伊藤 弘史

Ref	吉野田 太一	1st U	小田部 勝	2nd U
-----	--------	-------	-------	-------